

技術情報シート

1. 技術の名称	廃棄物管理・資源循環促進コンサルティング技術
2. 技術の内容	途上国を含む諸外国において、廃棄物の適正処理や有用資源の活用は、公衆衛生の確保並びに廃棄物の減量化の観点から促進すべき重要な環境対策であり、国家レベルから自治体レベルまでの廃棄物管理基本計画策定から事業実施、モニタリングまでの一貫したコンサルティングサービス技術
3. 技術の概要	【技術の目的・用途】 廃棄物の適正な処理・処分は、詳細な現状調査をベースとした基本計画の策定が不可欠であり、さらにその計画で提案された個別の事業を確実に実施し、所定の成果を収めるための技術力が求められている。 したがって、確実な事業実施による衛生環境確保を目的とした技術として、様々な自治体あるいは国レベルでの計画策定並びに事業実施に用いられるものである。 【技術の特長】 廃棄物や有用資源は発生源の地域特性に応じて多種多様であり、その処理方法についても地域特性、経済環境等により様々な技術が考えられる。当社の保有する技術はこれまでの国内、海外で培ってきた豊富な経験を基に、地域最適な廃棄物管理システムを提案することを特徴としている。 【実績】 国内、海外（特に途上国）において多数 【価格またはその問い合わせ先】 下記のとおり
4. 技術の分類	
①用途分類	都市ごみ処理、産業系廃棄物処理、有害廃棄物処理、最終処分、収集・運搬・保管、リサイクル、調査・評価、その他環境保護技術
②対象廃棄物	紙・段ボール、廃プラスチック、ペットボトル、ガラス瓶、スチール缶、アルミ缶、発泡スチロール、食品・生ごみ、建設廃棄物、家電製品、蛍光灯、電子製品、携帯電話、自動車、電池・鉛バッテリー、廃タイヤ、医療系廃棄物、廃油、その他
③提供役務	コンサルティング、環境影響評価、調査・データ処理
5. 本技術に関するサービス提供が可能な国	世界各国
6. 検索キーワード	廃棄物、適正処理、リサイクル、3R、マスタープラン、衛生埋立処分場、準好気性埋立、焼却発電、計画・設計、適地選定、環境アセスメント、LCA
7. 問合せ先窓口・担当者	日本工営株式会社 環境事業部 地域整備部 副田 俊吾 Email : soeda-sh@n-koei.jp